

第 2 章

沿 革



第2章 沿革

◆設立に至るまで

関西ねじ協同組合は、平成14年10月、関西のねじ製造団体5組合（西部製線鋳螺工業協同組合・大阪鋳螺工業組合・近畿精密ネジ工業協同組合・日本ナット工業組合・大阪磨ナット工業協同組合）は、ねじ業界の発展、競合国との競争並びに日本の経済情勢等に鑑み、5組合が合併し事業を効率的に進める事で効果的な活動の充実に繋がる旨結論に達し、組合員140社、賛助会員47社の規模でスタートいたしました。関西における我がねじ業界の歴史を鑑みると、それぞれが実に立派に、営々と50数年の歴史を刻んでこられました。



～ 設立総会に臨む役員一同 ～

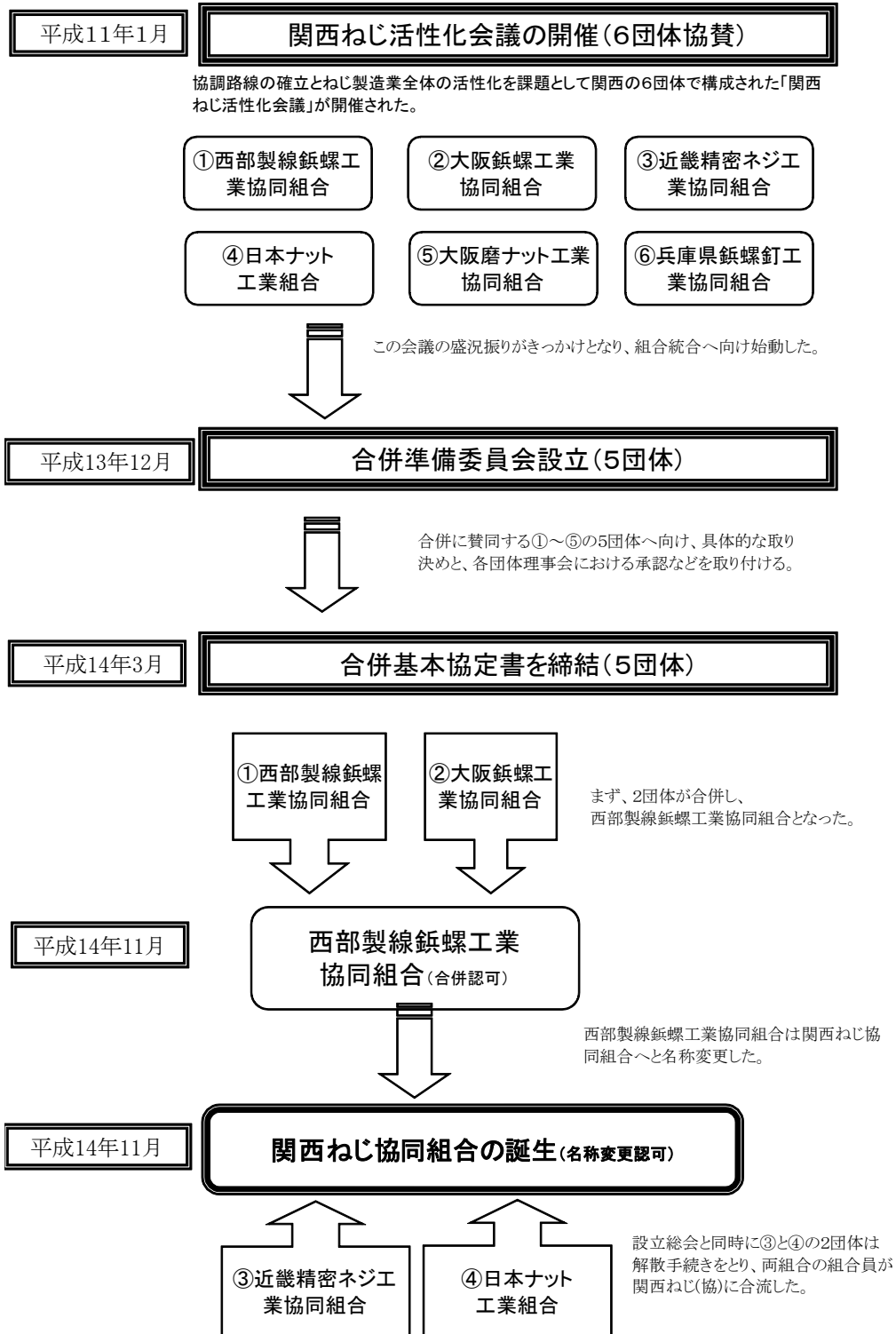
◆5組合合併の営み

平成14年3月27日 合併の基本協定書 締結

西部製線鋳螺工業協同	(組合員数 72社)
大阪鋳螺工業協同組合	(組合員数 24社)
近畿精密ネジ工業協同組合	(組合員数 32社)
日本ナット工業協同組合	(組合員数 31社)
大阪磨ナット工業協同組合	(組合員数 18社)

第2章 沿革

◆関西ねじ協同組合設立までの流れ



2002年(平成14年)

世界と日本 主な出来事	1/1ユーロ流通開始 1/29ブッシュ大統領悪の枢軸発言 2/8ソルトレイクシテイ冬季オリンピック 4/1ゆとり教育(学校5日制)の開始 5/28経団連と日経連が統合し日本経団連が発足 7/9AU(アフリカ連合)発足 9/17小泉首相が北朝鮮を訪問・同国は拉致問題を認める
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産: 477兆9149億円 経済成長率(対前年比) 1.1%成長 日本の完全失業率: 年平均5.4% ねじ生産重量 253万トン(対前年比101.0%) ねじ生産金額 6,292億円(対前年比100.0%)
年の漢字: 帰	拉致被害者が帰る・景気回復で帰る・歌謡曲リバイバルヒットで昔に帰る

この年、わが業界では関西におけるねじ関連の5団体(大阪鋌螺工業協同組合・近畿精密工業協同組合・西部製線鋌螺工業協同組合・日本ナット工業協同組合・大阪磨ナット工業協同組合)が統廃合し、平成14年10月1日『関西ねじ協同組合』設立総会を経て、初代理事長田島祥一氏を長に新生団体がスタートしました。前身の5団体から選りすぐりのリーダーが組織中枢を固め『改革と発展』をスローガンに研究開発・広報・福利厚生・経営革新・総務・海外情報・交流促進の7委員会が設置されました。これら各委員会の活動は、次年度から本格始動する下地作りとして、会合を中心に活発な取組みがなされました。組合活動の概要は以下の通りです。

*平成14年10月1日設立総会・記念講演会

「思いはかなう。これが日本人の底力だ」
講師 NHK チーフプロデューサー今井彰氏

*研究開発委員会 [委員長 豊田正喜]

- ①技術者の募集 ②研究テーマの選定
- ③研究テーマごとのグループ会合を実施

*海外情報委員会 [委員長 池田裕之]

海外産業の情報収集を目的として委員会を発足、第一回会合を実施

*交流促進委員会 [委員長 木本寿夫]

会員間の交流を促す目的で委員会を発足、第一回会合を実施

*広報委員会 [委員長 中谷格]

組合の情報発信を目的として委員会を発足、年3回の会合を実施し機関紙『結・創刊号』を発刊

*福利厚生委員会 [委員長 久保清一]

会員企業従業員を対象に福利厚生の充実を図る目的で委員会を発足、年2回の会合を実施
第一回親睦ボウリング大会を実施

参加者: 51チーム 153名

優勝: 丸エム製作所Aチーム

*経営革新委員会 [委員長 北井啓之]

「IT&人材育成」を目的に委員会を発足、2班での活動を開始。年3回の会合を実施。

IT講演会の実施

「NCネットワークの創業逸話」

「インターネットを活用した経営革新の方向性」

講師: NCネットワーク代表取締役内村康雄氏

*総務委員会 [委員長 勝亦良彰]

年2回の理事会の実施

*会員数: 正会員138社 賛助会員47社

2003年(平成15年)

世界と日本 主な出来事	1/29 朝青竜モンゴル人初の横綱昇進 2/24 北朝鮮が日本海にミサイル発射 3/3 大和とあさひが合併りそな銀行誕生 3/19 イラク戦争開戦 5/9 小惑星 探査機はやぶさ打上 8/25 住民基本台帳ネットワークシステム開始 9/26 十勝沖地震 10/1 東海道新幹線『品川駅』開業
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：485兆9683億円 経済成長率(対前年比) 1.02%成長 日本の完全失業率：年平均5.2% ねじ生産重量 261万トン(対前年比102.9%) ねじ生産金額 6,479億円(対前年比103.0%)
年の漢字：虎	タイガースのリーグ優勝・虎の尾をふむイラク派遣問題

平成15年度は自動車、工作機械、デジタル家電、IT関連の業界から景気回復はじまり、円高基調にもかかわらず輸出はアジア、中国を中心に大幅な成長を遂げました。ねじ業界では生産量、生産金額は増加となりましたが、数次に亘る材料価格の上げが行われ、業界が結束して対処すべき重要な問題となりました。このような世情に対し、当組合では既存7委員会に加え雇用管理全般を改善する『人材確保推進事業』を厚生労働省の助成金採択を受け3カ年計画5委員会の構成で開始しました。さらに会員啓発プロジェクトを新設、組合員全員が事業へ参加することで業界の結束意識を高め、体質強化を図る啓蒙活動として実施しました。主な組合活動は以下の通りです。

*研究開発委員会

①難加工材グループ【グループ長 粉室各伸】

難加工に関する講演等の実施

「ステンレス・チタン材の圧造・切削加工上の特性について」講師 大同特殊鋼(株) 長島友孝氏
工場見学会の実施

見学先：旭サナック(株)・(株)三明製作所

②表面処理グループ【グループ長 北井敬人】

湿潤繰返試験・塩水噴霧促進試験・屋外暴露試験の実施とデータ収集

③環境問題グループ【グループ長 矢島隆】

ISOに関する講演会の実施

「ISO14001の規格概要と最近の動向」日本品質保証機構 佐藤幸広氏 ほか

*人材確保検討委員会

①第一委員会【委員長 松元収】

人事制度の講演会及びアンケート調査の実施

「今なぜ人事改革なのか」

講師 日本総合研究所 河崎英二氏ほか

②第二委員会【委員長 夏原和哉】

IT研修会の実施「パソコンの基礎・Excel初級・HP基本作成・Excel上級」など

③第三委員会【委員長 箕村理】

大卒採用支援と企業プレゼンの講座開催など

④第四委員会【委員長 平田政弘】

経営者セミナーの実施

「心の夜明け・激動時代のリーダーの条件」

日本メンタルヘルス協会 衛藤信之氏 ほか

⑤第五委員会【委員長 矢野佳彦】

3S活動モデル(株)山田製作所の見学会実施

*福利厚生委員会

日帰りグルメツアーの実施

天橋立温泉ホテル北野屋 149名(バス3台)

*会員交流委員会

泉が丘カントリークラブ/ザ・パークヒルズゴルフクラブ コンペ2回開催

*会員数：正会員137社 賛助会員46社

2004年(平成16年)

世界と日本 主な出来事	1/12山口から鳥インフルエンザの発生 4月政治家の年金未納問題が相次ぐ 8/13アテネ五輪開幕 8/13沖縄国際大学に米軍ヘリ墜落 10/23新潟県中 越地震発生 11/1日本の新紙幣発行 11/2東北楽天イーグルスの誕生 12/26スマトラ島沖地震M9.3発生
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：497兆4407億円 経済成長率(対前年比) 1.02%成長 日本の完全失業率：年平均4.7% ねじ生産重量 282万トン(対前年比108.2%) ねじ生産金額 7,023億円(対前年比108.4%)
年の漢字：災	台風・地震・豪雨・猛暑を経験・イラク人質殺害など

平成16年、国内経済の回復傾向はその成長をやや緩やかにし、9月に入り原油先物相場で1バーレル50ドルを超える高値を記録、市場価格が国民生活にダイレクトな影響を与える一年となりました。球界ではソフトバンクホークスや楽天イーグルスが誕生し、年末にはゲーム産業からニンテンドウDS、プレイステーションポータブルなどの発売に湧き、IT産業が日本経済の機軸として一端を担うようになりました。当組合では新たに賛助会員で構成する『賛助会分科会』、未来を担う二世会『K-2』が誕生し組合活動を更に活気付けるものとなり、同年の年間活動日数は110日を越え、3日に1度は何らかの事業が行われるという盛況を博しました。組合の活動概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

研究テーマの継続実施と成果報告会の開催

「ISO共同構築の取り組みまでの歩み」

金剛鋳螺(株)横山邦夫氏、表面处理Gr：北井氏、

難加工材Gr：粉室氏らが報告実施

マグネシウム合金に関する講演会の実施

「Mg合金の特性と冷間加工用MgLi合金開発」

講師 大阪府立大学 辻川正人助教授

その他難加工材・表面处理・環境問題の活動詳

細は「委員会の歴史」でもご確認下さい。

*海外情報委員会

米国国際ファスナーショウへ視察団派遣の実施

USA：ラスベガスパリスホテル

セミナー「ファスナー品質保証」「中国の衝撃」

*福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施

場所：ロードボウル 参加：52チーム156名

日帰りグルメツアーの実施

長島温泉「ホテル花水木」130名(バス3台)

*会員交流委員会

太子カントリークラブ / 花吉野カントリー倶楽部でコンペ開催

*広報委員会

機関紙「結」5号・6号・7号の発行

*総務委員会

年6回の理事会の開催、総会(ヒルトンホテル)

及び新年互礼会(スイスホテル南海)を開催

*人材確保検討委員会

①第一委員会：人事評価制度の研究及びアンケートを実施し報告書を作成・配布。

②第二委員会：教育訓練のPC教室・Excel教室・研修会等を実施。

③第三委員会：採用活動に関する講座の開催及び近隣大学就職説明会等へ参画を実施

④第四委員会：経営者セミナー等の実施

「部下の心を揺さぶる行動させるリーダーとは」
講師 (株)カワイプロ河合登代子氏ほか

*会員数：正会員130社 賛助会員49社

2005年(平成17年)

世界と日本 主な出来事	2/16 京都議定書の発効 2/28 長野冬季オリンピック開幕 3/25 愛知万博(愛・地球博)が開幕 4/25 JR 福知山線脱線事故 7/26 日本人飛行士野口氏を乗せディスカバリー打上 8/26 ハリケーン「カトリーナ」がフロリダで猛威
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：503兆9210億円 経済成長率(対前年比) 1.01%成長 日本の完全失業率：年平均4.4% ねじ生産重量 296万トン(対前年比104.9%) ねじ生産金額 7,659億円(対前年比109.0%)
年の漢字：愛	紀宮様ご成婚・愛地球博・各界で「愛ちゃん」活躍

平成17年、日本国内は好景気が本格的に推移され、ねじ業界もその波及により実質成長の年となりました。また、数次に亘る原材料価格の値上げに対し製品への価格転嫁が容認されるなど大きな成果を齎した年と言えます。当組合では、平成14年に開始した研究開発委員会表面処理 GR の研究テーマ「金属腐食の加速試験方法及びその方法による腐食寿命予測方法」(※後の FCK 法) が特許申請するに至り、さらに、厚生労働省助成金の採択を受け業界人事制度の確立に取組んだ人材確保推進事業は3年間の纏めとして成果報告を発刊しました。これは同省交流大会において大阪代表として認められ等組合の活動が活発顕著である証となりました。組合の活動概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

- ①難加工材：超鉄鋼に関する講演会及び技術講座の開催「超鉄鋼の優れた強度・成形性バランスと応用」講師 物質材料研究機構 鳥塚史郎氏
- ②表面処理：屋外暴露試験と加速の寿命相関図作成に取組み、同伴を特許出願
- ③環境問題：ISO14001に関する講習会等の実施 「廃棄物とコストを削減する”グリーン購入”」講師 グリーン購入ネットワーク 深津学治氏ほか

*海外情報委員会

- ベトナムへ視察団派遣(26名)を実施
- ベトナム国際工業展・タカコベトナム・㈱ダイロックハノイ工場ほか視察

*福利厚生委員会

- 親睦ボウリング大会の実施
- 場所：ロードボウル 参加：52チーム156名
- 日帰りグルメツアーの開催
- 奥伊根温泉「油屋」135名(バス3台)

*会員交流委員会

- 太平洋クラブ六甲コース / 秋津原ゴルフクラブでコンペを開催

*広報委員会

- 機関紙「結」8号・9号・10号の発行

*総務委員会

- 年6回の理事会、総会(ホテル日航大阪)を開催、新年互礼会を大阪鋸螺卸商(協)と共同開催(ヴィアーレ大阪)

*人材確保検討委員会

- 中小企業人材確保推進事業報告書(全66P)の作成と配布、横浜国際平和会議場の交流大会で大阪代表として事例発表を行う。
- 第一から第五委員会では人事制度、教育訓練、大卒採用支援などの研究、人事に関する経営者向けセミナーなど実施

「考え方がその人の人生を決める」

講師 クロデザインスタジオ 黒田クロ氏ほか

*会員数：正会員129社 賛助会員51社

2006年(平成18年)

世界と日本 主な出来事	1/23 ライブドア堀江社長が証券取引法違反で逮捕 4/28 拉致被害者家族が 米国ホワイトハウスで演説 6/9FIFA ワールドカップドイツ大会開幕 9/19 タイ軍事クーデター勃発 9/20 安倍晋三内閣発足 12/30 サッダーム・フセ イン元イラク大統領死刑執行
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：512兆4519億円 経済成長率(対前年比) 1.02%成長 日本の完全失業率：年平均4.1% ねじ生産重量 312万トン(対前年比105.4%) ねじ生産金額 8,398億円(対前年比108.6%)
年の漢字：命	悠仁様ご誕生・いじめによる自殺、虐待、飲酒運転事故などが多発する

平成18年、国内経済は円安による輸出産業の好業績が景気をけん引し、バブル経済以前の景気拡大と産業界では5年連続の増加基調が報告されました。国内情勢に目を向けると、同年1月に発覚したライブドアの証券取引法違反での摘発、大手損害保険会社による保険金不払い問題が発覚し世間を賑わせました。当組合では、前年で終結した人材確保推進事業の流れをうけ「人材開発委員会」を設置、引き続きIT講習会や工場見学会、大卒採用の支援事業として近隣大学と情報交換会など人材教育に貢献する活動を行いました。また、組合増強のための会員開発プロジェクトを立ち上げ、正会員8社、賛助会員9社の新規加入者を迎えました。ほか活動概要は以下の通りです。

*研究開発委員会 [委員長 藤原廣二]

- ①難加工材：定例会合及び潤滑処理に関する講演会の実施「材料の潤滑処理に関する講演」
講師 総合技術研究所 小見山 忍氏
- ②表面処理：定例会合の実施、日本ねじ研究協会発行機関紙に特許出願中の「建築用ねじの腐食寿命予測と試験方法」を寄稿
- ③環境問題：ISO14001内部監査に関する講演会等の実施

*人材開発委員会 [委員長 中江良一]

- 近隣大学との情報交換会の実施
参加41企業 13大学
管理者対象研修会の実施「改善活動が本当の仕事」講師 テクニカルサポート 仙田良二氏
工場見学会「鍋屋バイテック(岐阜県)」を実施
ほかIT講習会、資格制度の検討など実施

*海外情報委員会 [委員長 西泰宏]

- チェコ・ドイツへ視察団派遣(14名)実施
自動車大手4社ほかフックス社など視察

*福利厚生委員会 [委員長 夏原和哉]

- 親睦ボウリング大会の実施
場所：ロードボウル参加：49チーム147名
日帰りグルメツアーの開催
南淡路旅行旅館「うめ丸」129名(バス3台)

*会員交流委員会 [委員長 木村繁雄]

- 聖丘カントリークラブ / 城陽カントリークラブでコンペ開催

*広報委員会 [委員長 今井敏雄]

- 機関紙「結」11号・12号発行

*総務委員会 [委員長 箕村理]

- 理事会の定期開催、総会(ホテル日航大阪)と新年互礼会(ホテルニューオータニ)の実施

*営業政策プロジェクト [委員長 池田栄治]

- 大阪鋸螺卸商(協)と共催セミナーの実施
「地球環境有害物質規制の最新情報」
講師 日東精工(株) 稲津巧巳氏

- 後継者問題に関する講演会の開催 ほか

*会員数：正会員137社 賛助会員60社

2007年(平成19年)

世界と日本 主な出来事	1/9 防衛庁が防衛省に 3/1 国際線全線で液体の機内持込が禁止 4/16 米国バージニア工科大学銃乱射事件発生 5/28 政治家献金問題「政治とカネ」で現役大臣が自殺 7/29 参議院議員選挙で民主党が第一党に 9/26 福田康夫内閣発足 10/1 郵政民営化による発足式開催 H19年:世界食糧価格危機年
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産: 523兆6858億円 経済成長率(対前年比) 1.02%成長 日本の完全失業率:年平均3.8% ねじ生産重量 333万トン(対前年比106.7%) ねじ生産金額 9,000億円越(対前年比108.2%)
年の漢字:偽	相次ぐ食品偽装・年金記録が偽り・耐震偽装・老舗料亭で消費期限偽造

平成19年は前年の米国住宅バブル崩壊に伴うサブプライム住宅ローン問題が発した世界的な金融不信・ドル安の加速が起こり、原油市場では価格高騰を起すなど景況落下の年となりました。国内では建築物の耐震偽装事件が相次いで発覚し、これに伴う建築基準法の改定から住宅着工件数が激減するなど、住宅業界やその周辺業界に大きな影響を与え、基幹産業が国内外から打撃を受けた年でした。ねじ業界においては安定成長が続いた景況は陰りを残し、世界情勢を見据えた経営方針や対策が肝要とされました。そのようななか、当組合では研究事業が大阪府地場産業等活性化補助金の採択をうけ、益々大きなプロジェクトに展開しています。そのほか組合事業の概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

①表面処理:定例会合の実施、(社)表面技術協会で腐食寿命予測と試験方法を発表、日本工業出版発行「建築設備と配管工事」へ研究内容を寄稿

②環境問題:ISO14001環境内部監査員講習会を実施 講師 日産ネジ(株)川端氏 ほか

*人材開発委員会

人材採用セミナーの開催「アルバイト・派遣中途新卒採用について」

講師 リクルートキャリア 森山典子氏

工場見学会「枚岡合金工具」の実施

経営者向け講習会の実施「管理会計手法による原価計算」講師 櫻井道裕氏

ほか IT・技能講習会の実施、資格制度の検討を実施

*海外情報委員会

アメリカ合衆国へ視察団派遣(12名)を実施
米国トヨタ・マサチューセッツ工科大など視察

*福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施

場所:桜橋ボウル 参加:52チーム155名

日帰りグルメツアーの開催

若狭「ホテルせくみ屋」131名(バス3台)

*会員交流委員会

ゴルフクラブ四条畷で年2回コンペを開催

*広報委員会

機関紙「結」13号・14号発行

*総務委員会

理事会、総会(ホテル日航大阪)開催

新年互礼会を大阪鋳螺卸商(協)と共同開催(ヴィアーレ大阪)

*会員開発プロジェクト [委員長 池田裕之]

新規加入者の斡旋(13社新規加入実績)

*賛助会分科会 [会長 田中良典]

年末情報交換パーティの開催と(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の見学会を実施 ほか

*会員数:正会員136社 賛助会員73社

2008年(平成20年)

世界と日本 主な出来事	1/30 中国から輸入した冷凍餃子に有毒物質混入 5/7 ロシア連邦「双頭の鷲」 大統領メドヴェージェフ、ウラジミール・プーチン首相就任 8/8 北京オリ ンピック開幕 9/24 麻生内閣発足 10/1 松下電器産業が社名をパナソニック に変更 11/4 米国大統領に黒人初のバラク・オバマが当選
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：518兆2309億円 経済成長率(対前年比) 0.99%成長 日本の完全失業率：年平均3.9% ねじ生産重量 320万トン(対前年比3.8%減) ねじ生産金額 8,980億円(対前年比0.3%減)
年の漢字：変	政界トップの変化・金融情勢の変化・物価上昇で生活の変化・異常気象

平成20年は米国投資銀行であるリーマンブラザーズが9月15日、負債総額64兆円という史上最大の倒産劇を起し世界的金融危機(世界同時不況)を引き起しました。後半に入り市場株価は大暴落し経済の乱高下を経験する一年となりました。ねじ業界では平成14年から続いた好景気は途絶え、自動車業界をかわきりに受注減少、生産調整が開始されました。当組合では理事長に箕村理氏を向かえ新体制が発足、業界全体の基盤強化を運営方針として掲げられ、ねじ産業の地位向上を目指す「ねじ産業未来開発プロジェクト」、ねじ技能検定制度を構築する「資格制度研究会」を新設、新たな体制での事業が開始されました。組合の主な事業概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

表面処理グループ定例会合の実施、(社)大気環境学会で活動成果発表会を開催
会員向け活動報告会を産業創造館で実施

*人材開発委員会

近隣大学との情報交換会実施
参加37企業 12大学
女子社員むけ講習会の実施「できる社員のビジネスマナー」講師 矢野沙基
経営者向け研修会の実施「大不況の羅針盤」
講師 (株)エムアンドエム 平佐聡典氏
そのほか IT 講習会・技能講習会などの実施

*海外情報委員会

イタリアへ視察団派遣(17名)の実施
アグレッティ社など視察

*福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル 参加：52チーム151名
日帰りグルメツアーの開催

滋賀石山寺「ニューびわこ健康サマーランド」
104名(バス3台)

*会員交流委員会

ゴルフクラブ四条畷 / 泉が丘カントリークラ
ブ / パインレイクカントリークラブで開催

*広報委員会 [委員長 榎本宏志]

機関紙「結」15号・16号の発行

*総務委員会 [委員長 池田裕之]

理事会の定期開催、総会(ホテル日航大阪)、
新年互礼会(シティプラザ大阪)の開催

*ねじ産業未来開発 PRJ [委員長 田島祥一]

K2・OS会対象の意見交換会を実施

*資格制度研究会 [委員長 北尾八一]

構成メンバーの募集と組織体制、検定試験用教
本作成を開始

*IT活用研究会 [委員長 勝亦良彰]

組合 HP を活用した広報を実施

*特記：初代理事長田島祥一氏 藍綬褒章受章

*会員数：正会員134社 賛助会員71社

2009年(平成21年)

世界と日本 主な出来事	1/15US エアウェイズがニューヨークハドソン川に不時着 4/24 世界保健機構(WHO)は新型インフルエンザ感染症を報告 6/25 歌手マイケル・ジャクソンが死去 7/1家電普及促進のエコポイントがスタート 9/16民主党が第一党に鳩山内閣発足
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産: 489兆5885億円 経済成長率(対前年比) 0.94%成長 日本の完全失業率: 年平均5.1% ねじ生産重量 222万トン(対前年比30.7%減) ねじ生産金額 6,285億円(対前年比30.0%減)
年の漢字: 新	新政権・行政刷新・新型インフルエンザと新薬・(新)裁判員制度

平成21年は世界各国の中央(準備)銀行が金利引下げを敢行し、産業界は金融不信の影響で生産調整・人員削減・経営の統配合など対策断行が余議なくなされた年となりました。ねじ関連産業全体に「100年に一度の大不況」と言われ、各社雇用調整助成金など活用し会社存続、従業員の維持に奮起する年となりました。「勝組・負組」と言葉が流行ったのも同年の特徴と言えます。当組合では未来開発プロジェクトが(社)日本ねじ工業協会と協賛で機械要素技術展に業界ブース出展(PR)を行い、また、2014年に迎え六角ボルトナット JIS 原案改正に対し兵庫県鋳螺釘、関東鋳螺釘の2団体と協調して業界意見の集約を図る活動に着手しました。組合の主な事業概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

表面処理グループ定例会合の実施、(社)日本防錆技術協会管理士会で活動成果報告を開催

*人材開発委員会 [委員長 豊田裕司]

技術講習会実施「非破壊検査講習」(株)大検研修会の実施「中小企業の海外展開の可能性」講師 甲南大学教授 M・R・シュレスタ氏
IT講習会・マナー講習会・技能講習会の実施

*海外情報委員会

バンコク・シンガポールに視察団派遣(17名)
現地ジェットロ経済講演会など開催

*福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施
場所: 新三国アルゴ 参加: 44チーム132名
日帰りグルメツアーの開催
橋立温泉「ホテル北野屋」118名(バス3台)
カーリース斡旋事業の開始

*会員交流委員会

ゴルフクラブ四条畷でコンペ開催

*広報委員会 機関紙「結」17号・18号発行

*総務委員会

理事会の定期開催、総会(ホテル日航大阪)、新年互礼会を大阪鋳螺卸商協同組合と共同開催(シテイプラザ大阪)

*ねじ産業未来開発 PRJ

機械要素技術展(インデックス大阪開催)に大阪鋳螺卸商(協)、(社)日本ねじ工業協会と連盟でブースを出展 スタンプラリーなど実施

*資格制度委員会

全国中小企業団体中央会の活路開拓助成金の対象事業。基礎編・製造編の六角ボルトナットのテキスト作成、活動成果報告書を作成配布

*JIS規格検討協議会 [委員長 箕村理]

六角ボルトナットの技術的検討を開始、定例協議会を開催し日本ねじ研究協会へ委員を派遣

*営業政策プロジェクト [委員長 後藤晴雄]

会員対象の生産統計調査を開始

*会員数: 正会員132社 賛助会員71社

2010年(平成22年)

世界と日本 主な出来事	1/19 日本航空が会社再生法の申請 2/12 バンクーバー冬季五輪開幕 4/14 アイルランドの火山噴火でユーロ圏の空港閉鎖 6/13 小惑星探査機はやぶさの帰還 9/7 尖閣諸島中国漁船衝突事件 11/13 ミャンマー民主化指導者アウンサンスーチーが解放
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：511兆3016億円 経済成長率(対前年比) 1.04%成長 日本の完全失業率：年平均5.1% ねじ生産重量 286万トン(対前年比1.09%) ねじ生産金額 8,087億円(対前年比1.29%)
年の漢字：暑	記録的な猛暑・チリ鉱山暑い地中から生還・はやぶさ大気圏の暑さ耐え帰還

平成22年は前年に始まったエコカー減税や家電エコポイントの政策が個人消費を刺激し、自動車・家電業界を中心に緩やかな回復基調となりました。しかし中小企業を中心とする我がねじ業界は一時的な回復傾向とは逆に、大手メーカーが海外へ生産拠点を移すことで国内需要の減少に歯止めの掛らない状況と言えました。当組合では2014年の六角ボルトナットJIS改正に対し、2年を掛けて改正原案の方向性を見出し、また、ねじの技能検定構築を目指した資格制度委員会は大阪府の助成金採択を受け仮称ねじハンドブックを完成し講習会を実施するに至りました。これら2事業は当組合から発信し、社団法人日本ねじ工業協会へと活動の場を移し全国展開致します。組合の主な事業概要は以下の通りです。

***研究開発委員会 [委員長 大場康弘]**

表面処理グループ定例会合の実施、ベトナムハノイ国際腐食防食技術会議2010に参加、「ねじの腐食寿命予測と試験方法」北井敬人氏が発表

***人材開発委員会**

経営者向け講習会の実施「会社が成功する理由・倒産する理由」講師 八起会 野口誠一氏
女子社員向け講習会の実施「できる女性のビジネスマナー」講師 古田由美
IT講習会・技能講習会の実施と近隣大学との情報交換を実施

***海外情報委員会**

メキシコへ視察団派遣(11名)を実施
フォルクスワーゲン社、モデロ社を視察

***福利厚生委員会**

親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル 参加52チーム156名
日帰りグルメツアーの開催
白浜[ホテルシーモア]131名(バス3台)

***会員交流委員会 [委員長 今井敏雄]**

ゴルフクラブ四条畷 / 万寿ゴルフクラブ開催

***広報委員会 機関紙「結」19号・20号発行**

***総務委員会**

理事会の定期開催、総会(リーガロイヤルホテル)、新年互礼会(シテイプラザ大阪)を開催

***ねじ産業未来開発 PRJ [委員長 中江良一]**

(社)日本ねじ工業協会50周年記念事業への支援協力(記念誌、エッセイコンテスト、フォトコンテスト、記念フォーラム)

***資格制度委員会**

大阪府地場産業等活性化補助金の対象事業に採択、ねじハンドブックを活用した講習会・模擬試験の実施

会場：大阪府商工会館 受講生：85名

***特記：黄綬褒章受章者(H22春/秋)**

金剛鋌螺株式会社 久保清一氏

紀州ファスナー工業株式会社 中江理廣氏

***会員数：正会員131社 賛助会員71社**

2011年(平成23年)

世界と日本 主な出来事	2/22 ニューゼaland・クライストチャーチで地震 3/11 東日本大震災発生 3/12 九州新幹線全線開業 4/29 英国ウィリアム王子ケイトミドルトンと挙式 7/17FIFA ワールドカップでなでしこジャパンが優勝 7/24 地上デジタル放送へ全面移行 10/5 アップル創業者フテューブ・ジョブズ死去
日本全体と ねじ業界の概況	日本の国内総生産：507兆4787億円 経済成長率(対前年比)0.99%成長 日本の完全失業率：年平均4.5% ねじ生産重量 276万トン(対前年比3.7%減) ねじ生産金額 7,973億円(対前年比1.4%減)
年の漢字：絆	東日本大震災、大規模災害から絆・国際社会の民主化運動で得た絆

平成23年3月11日東日本大震災発生。この震災は‘国難’に値する傷跡を日本に残しました。かけがえのない多くの命を奪われ、国民誰もが悲しみと痛みを感じたことと思います。産業界では東電管内の電力不足や原材料・部品の調達不善、自動車業界は生産停止に追い込まれるなど未来永劫に語られる日本経済停滞の年となりました。ねじ業界は出荷生産調整を余儀なくされ、また産業界の復興に合わせて至急の供給要請など混乱の年となりました。当組合では資格制度委員会、ねじ産業未来開発プロジェクト、JIS規格検討協議会の3事業が一定の成果をなし事業終了となりました。組合創立から10年の節目を迎え、次年度は更に会員ニーズに応える新事業を開始します。組合の主な事業概要は以下の通りです。

*研究開発委員会

表面処理グループ定例会合の実施、スガウエザリング学術講演会で研究成果発表の実施

*人材開発委員会

経営者向け講習会の実施「税制改革をぶっ飛ばせ！」講師 税理士 津守克洋氏
女性社員向け講習会の実施「できる女性のビジネスマナーその2」講師 古田由美さん
工場見学会「株式会社ダイフク滋賀工場」実施
その他技能講習会を年6回の実施

*海外情報委員会

スペインへ視察団派遣(9名)を実施
マドリッドジェットロ講演会の実施

*福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル 参加：56チーム167名
日帰りグルメツアーの開催
天橋立温泉ホテル北野屋 132名(バス3台)

*広報委員会 機関紙「結」21号・22号発行

*会員交流委員会

ゴルフクラブ四条畷 / 枚方カントリークラブでコンペを開催

*総務委員会

理事会の定期開催、総会(ホテル日航大阪)、新年互礼会を大阪鋳螺卸商(協)と共同開催(シテイプラザ大阪)

*ねじ産業未来開発 PRJ

若手社員対象ワークショップの開催
場所：シテイプラザ大阪 参加者24名

*資格制度委員会

日本ねじ工業協会と技能検定講習会を実施
場所：天満研修センター 参加者100名

*JIS規格検討協議会

日本ねじ研究協会「六角ボルトナット JIS 原案作成委員会」へ JIS 原案の創案提出

*IT活用研究会 [委員長 川端康弘]

組合 HP 更新作業を年6回実施

*会員数：正会員130社 賛助会員70社

国家栄典受章者

◆ 平成19年（秋） 旭日双光章 受章

北井 正次 氏 （ケーエム精工株式会社）

◆ 平成19年（秋） 藍綬褒章 受章

由良 豊一 氏 （嘉亀鋼業株式会社）

◆ 平成20年（秋） 藍綬褒章 受章

田島 祥一 氏 （株式会社丸エム製作所）

◆ 平成21年（秋） 旭日双光章 受章

中島田 正徳 氏 （株式会社中島田鉄工所）

◆ 平成22年（春） 黄綬褒章 受章

久保 清一 氏 （金剛鋌螺株式会社）

◆ 平成22年（秋） 黄綬褒章 受章

中江 理廣 氏 （紀州ファスナー工業株式会社）

◆ 平成24年（秋） 黄綬褒章 受章

土沢 健一 氏 （株式会社ナツハラ）